

就労移行支援事業

今回初めて、観光バスツアーに参加しました。バスツアーでは「集団行動におけるルール、マナーを身に付ける」ことを目的として行って来ました。



東茶屋でキティちゃんのチョコを買いました。やまじゅうでカニを食べました。砂嵐たいへんでした。市場で、のとじの月のお菓子を買いました。みんなと一緒に行動できました。はぐれませんでした。
BY: 帆ノ下 陽子



久々野観光バスツアーは、皆と楽しく石川県へ行きました。まず寿しやチョコレート菓子のお土産は家族に喜んでもらえて嬉しかったです。そして、やまじゅうでカニなどの海鮮を食べる時はすごく緊張しましたが、おいしく頂きました。私たちの他にもツアーに参加した人に迷惑をかける事なく最後まで無事に、バスツアーのマナーを守って終える事が出来て良かったです。そして、団体行動で自分勝手な行動をしたりせずに皆と行動出来たし時間も守れました。また、皆でバスツアーへ行きたいです。
BY: Reo



僕は初めて久々野観光バスツアーに行きました。バスツアーで時間厳守・単独行動はしないと決めて行きました。時間では少しでも遅れるとダメだったので自分でも時間を意識しつつ、移行メンバーの人たちに時間を伝え行動ができました。単独行動では自分の歩くペースだけでは無く、まわりを気にして集団行動ができたと思います。東茶屋街や屋ごはんでのやまじゅう、サービスエリア全体的に誰ひとりルールを破らずできたので良かったです。いろいろな所を見てまわったり、お土産も買って良かったです。また来年も行きたいです。
BY: 岡本 賢門

このバス旅行を通して集団行動を乱さずしっかりと声を掛け合って行動する事ができました。社会に関する大切なルールを学べて良かったし、これからも意識してやりたいと思います。
BY: 焼きそば大好き K. R



金沢に行きました。東茶屋街は全員で団体行動をしっかりすることができました。行きたい所も行く事ができました。その後のやまじゅうでの屋ごはんはカニを食べました。時間いっぱいゆっくり食べる事ができました。なぎさドライブウェイは風が強く通ることができませんでしたが、おみやげ屋さんではそれぞれ思い思いの物を買っていました。時間にも間に合うようにバスに乗ることもできました。風が強く砂も細かく、ジャンパーがじゃりじゃりになってしまいました。次の食祭市場でも一人一人が少人数のグループを自主的に作り、こちらもそれぞれの物を買って行きました。私も人と相談しながら、自分の思った物を買う事ができました。バスにも間に合いました。楽しかったのもありますが、人と行動するのが久しぶりに近かったので、あらためて集団で行動することの大切さを学びました。
BY: N. A

就労継続支援 B 型事業

翔 未来へつなぐ

山賀千ひろさん、紺野暁大さんが、将来の目標である一般就労へむけて、移行支援事業の体験を行いました。

★ 山賀さん 体験の様子と感想



Q: 移行支援を体験しようと思ったのは。

A: 個別面談で説明を聞いたけどよくわかりませんでした。「実際に体験してみても」とスタッフさんの勧めがあり、体験してみようと思いました。

Q: 移行支援での訓練を通して感じたことは。

A: 施設の外での訓練回数が多く大変だと思いました。また、施設の中で行う作業訓練の中でも、ボルト締めは重くて大変だったけど、慎重に注意しながら取り組み、やり遂げる事ができて自信になりました。



Q: 移行支援を体験した感想をお願いします。

A: 体験をして、移行支援の内容がよくわかりました。不安な気持ちが強かったのですが、いろいろ訓練に挑戦し自信を持つことが出来、移行支援に進むことが目標になりました。

ホテルの清掃訓練の様子

★ 紺野さん 体験を終えて今取り組んでいること

施設の外で行う訓練、施設の中で行う訓練ともに、緊張しながらもやり遂げることができました。体験を終えて、良かった点は、手順書を確認しながら取り組めたこと、出来ない所は自分からスタッフに助けを求めることが出来たことです。課題点としては、一生懸命取り組んでいるものの、スピードへの意識が弱い、清掃の時に隅の拭き忘れがあることでした。



スピードへの意識を高める為、綿棒の袋詰め作業において、次のことを取り組みました。

- ・目標数を決め取り組む。
- ・ストップウォッチを使い、決められた時間(30分)取り組み出来上がった数量と不良の数を記録する。
- ・定期的に記録を取る。



記録を取り、記入した用紙で振り返りを行う事で数を意識することが出来、スピードに対する意識も高まってきました。記録をとる以前と比べ、確実にスピードが上がってきています。



HAPPY NEW YEAR

1月4日 仕事始め兼新年会を行いました。会の中で、新成人のお祝いをし、みんなで新年の抱負を立てました。食事を取り、メンバーとの話に華が咲きました。

青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559
<http://welcomhida.web.fc2.com/>
平成30年 1月 10日発行 第35号

新成人のお祝い

成人を迎えられた皆さんおめでとうございます！何事にも成人としての自覚と責任を持って取り組み、日々成長していけるよう頑張ってください！！



2018年 みんなの抱負

「2018年 新年の抱負」を書いていただきました。実現に向けて一歩ずつ前進していきましょう！



代表して5名の方の新年抱負を紹介します。

- ・大平貴也さん 移行支援に向けて集中して頑張ります。
- ・T. Iさん 仕事をがんばりたいと思います！！
- ・中野英二さん 体調管理をし、コンスタントに作業が出来る様に頑張る。
- ・そうまさん ことしはやるき「そうま」でがんばります。
- ・☆Reo☆さん 今年は絶対就職したいです！！そして精神的に安定したいです。



新年のご挨拶

理事長 柏木 真司

新年あけましておめでとうございます。本年も障がいのある方の働くことによる豊かな生活の実現に向けて、職員一同精一杯取り組んで参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

私は昨年、岐阜県障がい者総合支援懇話会人材育成部会の研修検討委員会に参加させて頂いております。ここでは平成31年度のサービス管理責任者等研修の新カリキュラム実施に向けた検討を行っています。

現時点において国が示している従来の研修との大きな変更点としては、一回のみの研修を基礎研修、実践研修、そして5年ごとに行う更新研修に分けて行うことです。さらにこれまでの分野別ではなく、全ての分野の共通研修となることで、全ての分野のサビ管業務を行うことができるようになります。

この見直しで改善される点としては、キャリアに応じたスキルアップが図れることになり、提供されるサービスの質が担保されることです。反面、課題となる点は、知識やスキルが広く浅くなり、専門性がどれだけ担保できるかということです。

事業所において、サービス管理責任者の役割は大きく、利用される障がいのある方の人生をも変えてしまうこととなります。事業所は選んでもサービス管理責任者を選ぶことは困難です。だからこそ一定の水準を確保できる研修体制を構築することが重要であると考えています。

